お知らせします「知立市保育所整備計画」の進捗状況

▶問合せ　子ども課　保育係（内線221）

○計画の背景・目的

市内の保育所は、昭和40年代に建設されたものがほとんどであり、老朽化が進んでいます。また、昨今、乳児保育の急増、長時間保育、一時保育、障がい児保育など、建設時点では配慮がされていなかった保育が必要になっています。さらに、少子化により今後の知立市の就学前児童数は減少するものの、3歳未満児の入所は増加の一途にあります。

こういった背景を踏まえた保育所整備を進めることが急務となり、財政負担を考慮した計画的な建替等整備を進めるとともに、効率的な保育所とするための統廃合も必要となるなど、厳しい財政事情のなかでより良い保育をおこなうための整備計画を示すことを目的として策定しました。

○主な整備計画

・鉄筋コンクリート造の上重原、八橋、宝、上重原西保育園は、リニューアル工事、鉄骨造の知立南、高根保育園は建替えを行う計画となっており、知立南保育園は平成24年度に移転新築工事を実施し、平成25年4月利用開始をします。

・知立中央保育園は、今年度入所児童全員が卒園する3年後の平成26年3月で保育所としては廃止、平成26年度に発達障がい児等の通所施設としての機能を持った、新たな子育て支援センターの建設工事を行い、平成27年4月から利用開始する計画です。

・逢妻保育園は、入所児童数の状況と知立保育園の建替え時期を考慮し、統廃合する計画です。

基金の設置

平成23年度、老朽化が進んだ保育所施設の建替えを知立市保育所整備計画による着実な実施を図るための財源とするため、『知立市子ども施設整備基金』を新たに創設し、計画的に積み立てを行っていきます。

新中央子育て支援センターの建設

平成17年保育行政審議会より『保育所の数は市の規模から見て多すぎるので統廃合は必要である』との答申があり、保育所整備計画を策定する段階で再度、慎重に検討した結果、保育所の数を単位面積当たりで見た場合、近隣他市よりも多く、一部保育所を統廃合することになりました。

知立中央保育園は知立南保育園に次ぎ古い施設であり、老朽化が進み建替えが必要な時期となっていますが、敷地が狭いため建替えても十分な機能を持たせることが難しい状況です。また、市の中心部に位置するため、他市にあるような発達障がい児や肢体不自由児の療育施設、通所施設や子育て支援の拠点施設といった複合施設の新中央子育て支援センターの建設用地として適地であることから、知立中央保育園は廃止する計画になりました。

中央保育園の廃園と複合施設の建設について

知立市長　　林　郁　夫

いつも知立市政に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

現在、当市では小学校入学前のお子様を対象とした施設の整備を計画的に行っていくため、「知立市保育所整備計画」をつくり、子育てしやすい環境づくりを着実に推進しているところです。

そうした中、平成23年3月議会において、中央保育園の廃園についての条例案を審議していただきました。これは、中央保育園を廃園し、新たに肢体不自由児や発達障がい児の皆様方の療育施設と子育て支援の拠点施設の複合施設を整備していくもので、「保育所整備計画」の実施項目のひとつであります。

今回の廃園によって、廃園後の保育園の数は市内13園となりますが、市の面積あたりでは三河地域でもトップクラスの水準であり、待機児童が存在する状況とはなりません。

また、これまで近隣市にあり、当市にはなかった療育施設や子育て支援の拠点施設も整備されることとなります。

今後も、市民の皆様方の税金を大切にしながら、よりよい子育て環境づくりに努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

新・知立南保育園建設イメージ

知立南保育園の建替え

平成25年4月から利用開始する新・知立南保育園の概要は次のとおりです。

・**所在地**　知立市八ツ田町神明
（知立クリニックの東になります）
・**建設概要**
［土地］4,274㎡
［建物］1,720㎡
（鉄筋コンクリート2階建て）
［駐車台数］60台
・**入所定員**　200人（0歳～5歳）
・**保育内容**　延長保育、一時保育、障がい児保育（統合保育）
※子育て支援センターを保育園内に併設